

## 令和4年度 第2回向日市男女共同参画審議会 議事要点録

○ 日 時 令和5年3月27日（月）午前10時00分から12時00分まで

○ 場 所 向日市女性活躍センター 大会議室

○ 出席者

（委員）

大東委員、岩野委員、松田委員、松野委員、森田委員、田賀委員、松井委員  
（事務局・説明員等）

ふるさと創生推進部長 鈴木、副部長兼広聴協働課長 柴田、主任 上地

主査 酒井

○ その他出席者

傍聴者 なし

○ 会議概要

議事内容

（1）令和4年度男女共同参画推進事業報告について

令和4年度男女共同参画推進事業報告について事務局から説明を行いました。

### 【意見の要旨】

—議事内容（1）について—

副 会 長： 新型コロナウイルス感染症による制限が緩和されてきた中で様々な事業を実施されており、非常に良いと感じました。市民の啓発事業について、アンケートも実施されていると思いますが、参加された方のご意見はどのようなものでしたか。

事 務 局： 市民への啓発事業を実施する際はアンケートを実施しております。アンケートには5段階で感想を記入していただく部分があり、どの事業についても大変よかったというところに記入してくださった方が多いという印象です。特に、今年度初めて開催した女性応援セミナーについては、起業を考えている方はもちろん、テーマに興味があり参加された方にも好評でした。アンケートには、今後も類似するような内容のセミナーを開催して欲しいなど継続した実施を希望されるような声もありましたので、皆様に満足いただいたと感じております。

委 員： 男女共同参画週間記念講演会は今年度で20回目、自分らしく生き

よう！いきいきフォーラムは 33 回目と、今まで参加されている方の年齢層や参加頻度などを分析することにより、問題点や改善点が見つかるのではないのでしょうか。日本女性会議の参加者の中には、改善点についてたくさん報告されている方がおり、向日市だけが主催しているわけではありませんが、今後の市の事業についても色々考えていく必要性があります。やはり実施して終わりではなく、次に繋げることが大切です。

事務局：参加者の年齢層など、どのような方が参加されているかについて、基本的にはご高齢の方が多傾向にあると認識しております。7月6日に実施した男女共同参画週間記念講演会についても、チラシ等を見て参加される方は、やはりご高齢の方が多割合を占めておりましたが、学生の方も参加されており、質問も積極的にされていました。

自分らしく生きよう！いきいきフォーラムについては、今年度初めての試みとしてベビーカー置き場を設け、また、マット席を用意して子供さんと共に参加していただけるよう工夫し、若い方の参加を促しました。新しい方も少しずつ参加されてきていますが、初めて参加された方の割合など、参加者の分布についての数値は集計中ですので今はお答えできません。

これからも少しでも若い方が参加していただけるような工夫を取り入れてまいります。

副会長：事業を単発でやるのではなく、そこに来られた方にどういう働きかけを行っていくのが大切です。例えば、今回の日本女性会議では、2名の方が参加されており、たくさんの意見を述べられています。今後この2名にどのような働きかけをするのでしょうか。

また、過去に参加された方々がどのような活動をされているのかなど把握されているのでしょうか。参加された市民が市と市民とのパートナーシップのような形で、様々な活動の輪を広げていくというのも重要だと思います。

事務局：今回、日本女性会議に参加されたお2人に関しては、当日以降の連絡は特別とっておりません。

副会長：過去の参加者には情報提供をされているのでしょうか。

事務局：この事業については、コロナ禍でしばらく開催されていなかったこ

ともあり、現在、情報共有は行っておりません。

副会長： せっかくできた繋がりを生かして次の事業を考えていくのも必要かと思えます。

委員： 情報発信はどのようにされていますか。

事務局： 基本的には広報誌、ホームページと LINE で情報発信を行っております。

委員： あまり周知されてないという印象があります。広報誌を好んで見られる方はご高齢の方が多いため、もう少し様々な発信の仕方をされると若い世代も参加されるのではないのでしょうか。

長岡京市では先日、お母さんたちと企業がコラボしたママ企業家さんを応援するイベントがあり、3,000 人の規模で開催されました。そこに参加する人たち一人ひとりが「自分が集客する」という意思を持ち、SNS 発信や教育委員会と協力し合い学校にチラシを配るなどターゲットを絞って集客しています。

事務局： パパ塾では、向日市内の保育園にチラシの配布を協力していただきました。

また、京都市が事務局として実施される市民ぐるみ「多様な性のあり方が尊重される京都」推進ネットワークに構成員として本市も参画し、関係団体と繋がりができましたので今後事業を行う際は、関係団体にも周知の協力依頼を行いたいと考えております。

副会長： 男女共同参画週間記念講演会に学生の方が参加されたということでしたが、その学生の方は何を見て来られたのでしょうか。今までとは違った年齢層の参加者が何の媒体で情報を得たのかを把握すれば、その方法が若い方たちへの周知に有効だということではないのでしょうか。

事務局： 新型コロナウイルス感染症拡大防止のためワクチンの集団接種予約に LINE を使用しましたので、たくさんの方に LINE 登録をしていただきました。市の情報を LINE で発信するようになってから若い方が少しずつ参加されています。

広報誌は月 1 回、各家庭に配布しており、やはり若い方よりご高齢の方が進んで読んでいただいていると感じておりますので、LINE をより活用できればと考えております。男女共同参画週間記念講演会に

参加された学生の方についても、LINE を見て、ご参加いただきました。

委員： LINE であればイベントの情報が入ってくるのと同時にその場で申し込みができる場合もありとても便利です。

副会長： 確かに広報誌は世帯ごとに配布されているため親世代が読み、若い世代の手元まで回って来ない状況が多いかもしれません。

事務局： 今回の自分らしく生きよう！いきいきフォーラムには中学生の方が参加されており、その方は、向日市の LINE を見たお母さんに勧められて参加されていました。

委員： LINE のお友達追加をしているのは市民の何割くらいですか。

事務局： 16,111 人なので、市民の 5 分の 1 くらいです。

委員： 長岡京市の LINE お友達登録者数は約 8 万人です。

委員： 人口を上回っているので全員が長岡京市民ではないと思います。

委員： 長岡京市では広報誌に若い市民のライターを要請し、若い方たちが取材を行い紙面の一部を作成されているケースがあります。中には、動画を作成される方もいらっしゃいます。広報誌の一部に携わることにより、当事者意識が生まれるようです。

副会長： 新規事業の女性応援セミナーですが、参加者が市の広報誌の一部に携わっていただくのもひとつだと思います。

委員： 1 年間のうちに多くの事業をされていたのに、知らなかったことがあります。広報されて目にした事業に興味やメリットがあれば参加者も集まると思いますが、広報誌などの紙媒体は手に取らなくなり集客も減っているため SNS 系統などで周知するのが効果的ではないでしょうか。

また事業では集客が厳しくても実施の必要性があるイベントもあると思うのですが、それぞれのイベントでの参加率を教えてくださいませんか。

事務局： 参加者が集まりにくい啓発事業の中には声掛けをして参加者を募ったケースもありますが、パパ塾や女性応援セミナーなどは広報誌や LINE、友達同士で声を掛け合っただけで自主的に参加された方も多くいらっしゃいました。特に女性応援セミナーは、LINE で配信すると参加を希望される電話がたくさんあり、定員オーバーでお断りすることもある

りました。

自分らしく生きよう！いきいきフォーラムは、実行委員形式で実施しているため、実行委員の皆様の周知により 75 名の参加がありました。

「性の多様性」というテーマでは集客が難しいところではありますが、今後、市民ぐるみ「多様な性のあり方が尊重される京都」推進ネットワークの構成員と連携することで、今までと違うところへの働きかけもできると考えております。

委員： 講演会の参加方法として、YouTube などを使用して自由なタイミングで視聴できる、又は会場まで行けない方に向けてオンライン形式で実施されないのでしょうか。

事務局： 講師の方によっては、講演会の一部を切り取られて本来の意図と違う内容で拡散されるのを恐れて希望されない場合もございます。今までは機材の関係などで上手に映像化できない部分もありました。

今後は新しく開館した市民会館で開催する場合、比較的機材の設備もございますので、講師の方と相談しながら検討してまいります。

委員： 講師の立場からの意見として、講演を全部配信されるというのは難しいと思います。その講演会の時期から更新しなければならないデータもありますし、それがいつまでにどのように配信されるかわからないのであれば尚更です。

副会長： 先日、彦根市から依頼がありオンデマンドで実施しました。自分で動画を 1 時間半撮影し配信しましたので、講師の方への伝え方にもよると思います。

委員： コロナ禍で会議や講演会などの開催方法が多様になったと感じます。

委員： アカウントから申し込み、会場に行かなくても自宅のパソコンからセミナーを視聴できるケースもあります。向日市商工会の理事会もオンライン形式で開催され、会場へ行かずとも参加できたため便利だという意見がありました。

委員： ライブで発信されるのと YouTube にアップされるのは全然違います。

副会長： 大学の教員だと、オンデマンドで授業を実施することが増えました

ので対応していただける方も増えていると思います。

委員：自分がオンラインで配信するようになり思うのは、ユーチューバーの話すスキルが素晴らしいということです。会場で話すのと画面越しで話すのとでは発信するときのスキルがまた違うものです。

先ほどお伝えした長岡京市のイベントでは3,000人の参加者を募る方法として、インスタライブも活用されていました。雑談をするように話されており、ファンを作って集客に繋げるそうです。一方で講師が講演会で話すとなるとテーマや筋道を決めて話します。

副会長：他市の事業も共通する悩みを抱えていると思います。男女共同参画週間記念講演会は集客が難しいという話がありましたが、学生と接しているとセクシャルマイノリティー関係の話は興味をもっている方が多いように感じます。セクシャルマイノリティー関係のテーマであれば若い方をターゲットとして、どのように情報発信するかを考えていくべきではないでしょうか。

事務局：ホームページや広報誌で発信するにしても、テーマやキャッチコピーで惹かれるものがあれば集客につながるのではないかと考えております。去年の男女共同参画週間記念講演会のテーマが「LGBTQ+とパートナーシップの多様性について」としたため堅く役所らしい印象で若い方には響かなかったのではないかと感じました。魅力的なキャッチコピーで若い方の集客へ繋げたいと考えております。

副会長：パパ塾のキャッチコピーは惹かれるものがありますが、男女共同参画週間記念講演会は、大学の講義のように感じます。

委員：女性応援セミナーで勉強された若い方がワークショップを通して、素敵なキャッチコピーを考えてもらうのはいかがでしょうか。

事務局：令和5年度第1回目の女性応援セミナーは、キャッチコピーを学ぶ講座を予定しております。

委員：男女共同参画週間記念講演会のテーマについてですが、生涯学習課の講演会でも類似のテーマで実施しています。このテーマだけでは何の内容なのか分かりません。参加すれば自分のためになることは想定できますが具体的に何の話が聞けるのかが分かりません。

前回の審議会でも発言しましたが、今は女子中学生も制服でスラックスを選択できます。仲の良い保護者の娘さんが中学1年生でスラ

クスとブレーザーを着用し登校されています。元々スポーツをされており日焼けや短髪でマスクもしているため、女子トイレに入ると誤解されることもあるようです。

いざ自分がそのような場面に直面した際に、多様性を受け入れてどう対応していくかを学べると分かれば、参加してみたいと思うのではないのでしょうか。特に子育て層はそのような場面が今後増えてくると考えられますので需要があると思います。

類似した内容を教育委員会と PTA が共催で実施しているため広聴協働課の男女共同参画事業についても共催で実施すれば発信できるツールも増えるため、広く広報できるのではないのでしょうか。市役所の横の繋がりを利用していただきたいです。

事務局： 生涯学習課が類似したテーマで講演会をされているのは承知しております。全く同じテーマや内容の講演会を実施しても効果的ではないと思いますので生涯学習課と連絡を取り合いテーマや内容が被らないように注意するなど、情報共有に努めてまいります。

委員： 長岡京市と共催で実施するのも考えていただきたいです。

副会長： キャッチコピーは事務局で考えられていますか。

事務局： 事務局で案を考え、講師の方にご確認いただいております。

副会長： 話す内容をお伝えいただいて、テーマやキャッチコピーは講師の方にお任せした方が良いでしょうと思います。場合によってはテーマと話している内容がずれてしまうことや、テーマに合わせて話しを作らなければなりません。

委員： 私は、あすもあの和室を使用して志書道クラブという活動しています。月に4回ほど子どもに書道を教えています。書道教室と違ってクラブなので、比較的自由に参加していただいており、小学生のお母さんたちなどメンバーは10人くらいです。

また、コロナ禍になる前から家庭教育という子育ての相談事業も行っており、グループ相談の世話役をしていました。コロナ禍になってからは対面で実施できなくなりましたので、去年は子育ての相談事業をハイブリッドで実施しました。

講演会に参加することは大事ですが、3歳未満の子どもは一時保育に預けられたとしても、小学生の託児はできず、会場へ一緒に参加

することも難しいため、小さい子どもがいる家庭は参加が難しいのではないのでしょうか。一般的な会場とは別に子どもと大人と一緒に参加できるような会場を設けてはいかがでしょうか。

副会長： 別室を設けて、ZOOM 配信をするなど企画するのはいかがでしょうか。

事務局： 今回の自分らしく生きよう！いきいきフォーラムは、子育て世代向けの内容でしたので先生に了解を得て、会場へ一緒に子どもも参加してもらう形式で開催しました。テーマによっては同じ会場に参加していただくこともあると思います。

また、市民会館ではホールで開催されている催しを別室に映し出すことは可能ですので、ホールで開催する事業であれば検討してまいります。

副会長： 例えば、たくさん人がいる会場には参加しにくいなど支障があり、他の方と一緒に参加できないケースもありますので、是非検討してください。

委員： 本当にたくさんの方の事業をされていることを知りました。いきなりたくさんの方を集めるのではなく、今まで事業に参加していただいた方を巻き込んで次に繋げる地道な方法もあるということに気付かされました。

参加された方に、今後希望される講座や興味のある内容を聞き取ることでより良いテーマが出てくるのではないのでしょうか。

副会長： あすもあを利用されている方はセクシュアリティなどに関心のある方だと思いますので、その方々のネットワークを利用し、情報を発信されてはいかがでしょうか。

委員： あすもあを利用されている方のメンバーがいつも同じ方ですので、利用者から、さらに多くの人に繋げて欲しいです。

副会長： 男女共同参画庁内推進会議において男女共同参画審議会の報告をされましたが、そこではどんな意見がありましたか。

事務局： 今回の男女共同参画庁内推進会議では委員に報告として資料を配布し、ご意見があればいただけるように実施しました。その後、委員からのご意見は届いておりません。

副会長： 男女共同参画庁内推進会議に参加された委員は市全体の事業を把



握し、それを受けて出た意見を各所属に持ち帰ったのでしょうか。  
アンケートなどをされてはいかがですか。

事務局： ここ数年で、男女共同参画庁内推進会議を実施していなかった状況もあり、しばらく男女共同参画審議会の報告もできていない状態でした。今年度、報告は行いましたが意見交換の場は作れませんでしたので、来年度以降は頂いたご意見を参考に検討してまいります。

副会長： 男女共同参画ワーキンググループ会議も来年度も開催されると思いますし、男女共同参画庁内推進会議で報告した結果や来年度の予定についてもご報告いただきたいです。やはり、男女共同参画庁内推進会議では最も市の男女共同参画社会をどう進めていくのか、問題点が一体何なのかを共有し話し合う場であるべきです。それを引き継いでいただくことも重要です。

委員： 学校教育の現場でも市職員が情報共有できていないことがあります。

委員： 男性の育児休暇の取得率の上昇など努力されている部分もありますが、重要な会議など引き継げていない状況をつくるべきではありません。若い世代の転入も増加しており住民意識も変化してきているため、今が意識改革のチャンスだと思います。意識の高い方たちが事業に参加されているため、その方々が様々な立場を担った際に、学んだことを生かして活躍することで市の男女共同参画プランの実現に繋がるのではないのでしょうか。

委員： 9月に開催した男女共同参画審議会の内容を1月に報告するのは遅いのではないのでしょうか。

副会長： なぜ今回の男女共同参画審議会がこの年度末に開催となったのでしょうか。

事務局： 例年3月20日前後に実施しております。1年間の報告のため、数値を集計する必要があるためその時間を考慮して本日に開催させていただきました。

副会長： 男女共同参画庁内推進会議と男女共同参画審議会の実施のタイミングについても考えていく必要があります。男女共同参画審議会の第1回目は事業計画について議論しますが、半年ほど過ぎた頃に報告されるためタイミングをもう少し検討してください。

事務局： 第1回目は前年度の男女共同参画プランの進捗状況についても議題にしており、その集計に時間を要するため夏頃の開催となります。本来であれば年度初めに計画と、前年度の男女共同参画プランの進捗状況の報告をするのが理想だと思っております。

副会長： 審議会として開催されなくとも、例えば計画が決定した段階で情報を共有されるのはいかがでしょうか。

事務局： 年度初めは具体的に事業内容が決まっていない部分もありますが、予算要求をする際に思案した概要を報告させていただくことは可能かと思えます。

副会長： 可能な限りお願いします。

本日の議題については以上で審議終了とします。事務局から次回の日程について説明をお願いします。

事務局： 今年の8月ごろに審議会を開催予定です。日程調整の上、開催します。